

「鯉牡丹文」1958年 芹沢銈介作



「繩のれん文のれん」1955年 芹沢銈介作



「騎象番賢の幟」1950年 棟方志功作



「観音経板画巻・辟支仏の幟」1938年 棟方志功作

★関連行事
学芸員のおすすめ作品観賞会
日時：①6月13日(土)
②7月5日(日)
※両日とも14:00～
※美術館入館券が必要です。

芹沢銈介(せりざわ けいすけ) 染色家

- 1895年(明治28年) 5月13日、静岡市生まれ
- 1916年(大正 5年) 東京高等工業学校図案科卒業
- 1925年(大正14年) 柳宗悦の論文「工藝の道」に感動、生涯の一転機となる
- 1927年(昭和 2年) 鳩居堂で開催した日本民藝品展で初めて民藝に接し感銘を受ける
- 1938年(昭和13年) 柳宗悦らと沖繩を訪問。紅型の技法を習得する
- 1955年(昭和30年) 芹沢染紙研究所を設立
- 1956年(昭和31年) 重要無形文化財「型絵染」の保持者に認定
- 1958年(昭和33年) 倉敷大原美術館の工芸館を設計する
- 1967年(昭和42年) 静岡市名誉市民
- 1976年(昭和51年) 文化功勞者になる
- 1981年(昭和56年) 静岡市立芹沢銈介美術館開館
- 1984年(昭和59年) 4月5日死去(88歳)

柏市が所蔵する人間国宝・文化功勞者の染色家芹沢銈介と文化勲章受章の版画家棟方志功の作品を紹介する展覧会。共に、柳宗悦の民藝運動に影響を受け日本を代表し、国際的にも評価の高い芹沢銈介と棟方志功。芹沢銈介は、1895(明治28)年静岡市に生まれ、東京高等工業学校(現 東京工業大学)図案科を卒業。その後、沖繩の紅型(びんがた)に出合ったことから型染めを中心とした染色の道に進みます。自ら下絵、型彫り、染めの工程を一貫して行った、独自の斬新な文様と華やかな色彩で創造された「型絵染」による多彩な芹沢作品と、1903(明治36)年青森市に生まれ、ゴッホの「ひまわり」をみて非常に感銘を受けて画家を志し、後に版画家となった棟方志功。1938(昭和13)年の第二回文展で版画作品として初めて特選を受賞。1970(昭和45)年には文化勲章を受章します。神仏教の教えに触れ、人間の生命感溢れる独創的な版画は、自ら「板画」と称しました。今展では、芹沢銈介の染絵による「釈迦十大弟子尊像」や棟方志功の六曲一双「二菩薩釈迦十大弟子屏風」などの代表的な作品、合わせて62点をご紹介します。

棟方志功(むなかたしこう) 版画家

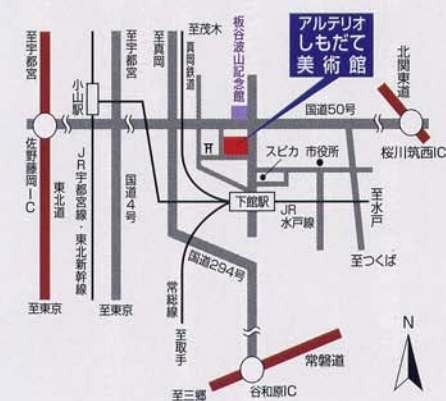
- 1903年(明治36年) 9月5日、青森市生まれ
- 1921年(大正10年) 雑誌「白樺」でゴッホの「ひまわり」を見て感銘を受ける
- 1928年(昭和 3年) 第9回帝展に油絵「雑園」初入選
- 1936年(昭和11年) 第11回国画会展に「大和し美し」出品。日本民藝館買上げとなる
- 1942年(昭和17年) この年から版画を「板画」とする
- 1955年(昭和30年) 第3回サンパウロ・ビエンナーレで版画部門最高賞受賞
- 1956年(昭和31年) 第28回ヴェネチア・ビエンナーレで国際版画大賞受賞
- 1969年(昭和44年) 青森市名誉市民
- 1970年(昭和45年) 文化勲章受章。文化功勞者となる
- 1973年(昭和48年) 鎌倉に(財)棟方板画館を設立
- 1975年(昭和50年) 9月13日死去(72歳)

交通のご案内

【電車】
JR水戸線・関東鉄道常総線・真岡鐵道下館駅北口
下車徒歩8分

- 北関東自動車道・桜川筑西インターから国道50号で約20分
- 常磐自動車道・谷和原インターから国道294号で約1時間
- 東北自動車道
佐野藤岡インターから国道50号で約1時間20分

【駐車場】
無料地下駐車場をご利用ください。
満車の場合、市役所駐車場をご利用ください。



お問い合わせ

しもだて美術館
Shimodate Museum of Art

〒308-0031 茨城県筑西市丙372(アルテリオ3階) TEL:0296-23-1601
<http://www.city.chikusei.lg.jp/museum/> databi@city.chikusei.lg.jp